

交換留学（派遣）帰国報告書

留学先大学 : The University of Western Australia

留学先での所属学部・研究科 : _____

留学先での在籍身分 : Cross Institutional (Exchange) Undergraduate

留学期間 : 2014 年 7 月 ~ 2015 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 理学研究科

学年（出発時） : 修士1年

本報告書記入日 : 2015 年 7 月 1 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 7 月 28 日

学年終了月日 : 6 月 20 日

学期 :

①7 月 28 日 ~ 11 月 21 日

②2 月 23 日 ~ 6 月 20 日

③____月____日 ~ ____月____日

④____月____日 ~ ____月____日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

パース市内からバスで10分ほどにある郊外に位置しているので、比較的静かで勉強に適していると言えます。またキャンパスでは孔雀が放し飼いされています。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

StudySmarterというサポートを受けることができます。例えば、英語が母語でない生徒のための文法のクラスや、会話等の練習ができるクラスがあります。時間があるときには必ず参加していました。そのほかにもエッセイの添削を受けることができます。課題が出たときにはよく活用させていただきました。

勉学面でのサポート :

分からぬところがあれば、授業後等に質問していました。英語で上手く質問することができない時にでも、親切に教えていただきました。

精神面でのサポート :

ホームシックになることもありましたが、友人と会話することで切り抜けることができました。

住居・生活面でのサポート：

私が日本にいるときに既に寮に住むことが決まっていたので、活用しませんでした。

課外活動のサポート：

大学にボランティア等の掲示板があるようです。僕は寮に住んでいたので、定期的に寮に募集が来ていました。その中の一つに参加しました。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

私は寮に住んでいましたが、ある日本人の留学生が入寮して一週間で出て行ってしまいました。合う合わないということがあるようです。あらかじめその寮がどのような雰囲気か、留学経験者の話を聞いて考える必要があります。シェアハウスも比較的人気です。ただ、シェアメイトが知らない人である場合、所謂当たりはずれがあるようです。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

- OSHC(\$618)

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮の料金に含まれていたので分かりません。一ヶ月あたり40ギガバイトの情報量を使うことができました。また、学校の図書館ではフリーのWifiが使えます。市内にもフリーwifiがあります。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

- 図書館（日本語入力はできません）

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

体調不良が2週間ほど続いたため、一度病院に行きました。診察費、薬を含めて約\$50かかりました。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

睡眠は多めに取ることを勧めます。慣れない英語環境の中に身を置くので、自分が思った以上に身体・精神と共に疲労します。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

大学で銀行のオリエンテーションがあったので、いくつか来ている中から一つの銀行を選んで開設しました。分からないところは丁寧に説明してくださりました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

会話するときのジェスチャーが日本人と比べて大きいです。違うところを挙げたらきりがありませんが。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

神戸大学に交換留学生として来ていた友達（卒業済み）と会う機会はありました。基本的に寮の友達または大学の友達と過ごしていました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

- ・スワン川清掃のボランティア
- ・日本語のチューター

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

夜間の歓楽街には変質者がかなりいましたが、それ以外は安全だと思います。知らない人でも通りすがりの人にはHi, how is it going?と挨拶をする人が多く、温かい町だと感じました。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） Jasso , 70000 円／月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

- ・地球の歩き方
- ・tripadvisor
- ・UWAのホームページ

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

電子辞書（持ち歩いていました。）

耳栓

自分に合った化粧品（現地のものではどうしても合わないということがあると思います。）

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEIC) 800 点 → 帰国後 (TOEIC) 890 点

思ったほどTOEICの点数は上がりませんでしたが、語学力は確実に上がったと思います。特にスピーキング、リスニングのレベルは格段に良くなつたと思います。しかし、ライティングに苦戦しました。エッセイでもグラマーミスなどの初歩的なミスをすることが多く、しばしば減点されました。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

長期休みに旅行をしたのですが、申し込んだツアーに登録されていなかった時はパニックになりました。電話してなんとか参加することはできましたが…その他にも数多くのトラブルを経験しましたが、乗り越えることができました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

出発する直前のガイダンスやそれ以外の機会でもアドバイスをいただけたので、とてもありがとうございました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

勧めます。語学力の向上はもちろんそうですが、専門の勉強、他にも多種多様な文化を持つ人々との出会い、様々な経験をすることで、視野が広くなったと感じます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	HUMA1901 English Language and Academic Communication I	Penny Hawken	3	6	約40	英語が母語でない生徒のための授業です。essay等の課題が出ます。質問する場所が大学に設けてあるので、利用すると良いと思います。
2	HUMA1902 English Language and Academic Communication II	Penny Hawken	3	6	約20	英語が母語でない生徒のための授業です。essay等の課題が出ます。質問する場所が大学に設けてあるので、利用すると良いと思います。
3	ARCY1002 Archaeology Today: Principles and Themes	Martin Porr Benjamin Smith	3	6	約100	Tutorialでessayを書いたり、presentationを行います。また、宿題で石器のレプリカを作ります。
4	SSEH2270 Psychosocial Aspects of Sport, Exercise and Health	James Dimmock	4	6	約200	週に一度、lectureとは別にダンスの授業があります。Tutorialでは班に分かれてプレゼンテーションを行います。
5	ECON1102 Macroeconomics: Money and Finance	Paul Crompton, Anna Wiechecki	3	6	約150	TutorialではLectureで習ったことをディスカッションします。毎週のリーディングが必要です。
6	EART1105 The Dynamic Planet	Mary Gee	4	6	約170	学期末のテストの代わりに2~3回間に一度オンラインクイズがあります。またTutorialではエッセイを書いたり、プレゼンテーションを行います。Tutorの方々は非常に親切で的確なアドバイスもらいました。宿題の頻度は他の授業に比べて多かったです。
7	ENVT2220 The Climate System	Karl-Heinz Wyrwoll	4	6	約120	学期末のテストの評価の割合が50%と他の授業に比べてテストの割合が多いです。Tutorialでは実際の天気図などを用いて実践的な問題を解きます。1500wordsのエッセイも一度出ました。僕にとっては難しい授業でした。
8	EART2222 Geomorphology and Soils	Andrew Rate	5	6	約70	field tripに出かけ（日帰り）、そこで採取したサンプルを用いて簡単な分析を行いレポートを作成しました。授業で行ったことを実際の目で見て、感じることができるので、僕の好きな授業の一つでした。1500wordsのエッセイが学期初めに出了ました。ほぼ毎週宿題がありました。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業はLecture（日本でいう授業）とTutorial（discussionやpresentation）に分かれています。Lectureは録音され、オンラインで後から聞くことができます。基本的に出席をとることが無いため、Lectureには出席せず、オンラインで受ける生徒も少なくありません。Tutorialは出席をとるため、ほとんどの学生が出席します。クラスサイズについてですが、授業によると思います。またTutorialでは生徒を何分割かにするので、人数は少なくなります。成績評価についてですが、アウトライ（シラバス）で確認できます。日本では寝ている生徒をしばしば見かけますが、UWAではそういう生徒はほとんどいませんでした。しかし、現地の学生は思っていたよりも積極的ではないという印象でした。先生が生徒に質問を投げかけても誰も答えない時もあります。その際は自分のチャンスだと思い発表するようにしました。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃 : 16万円
- ・住居費 : (月額) _____ × (留学月数) 8 ヶ月 = 160000(寮費)
- ・食費 : (月額) _____ × (留学月数) 8 ヶ月 = 寮費に含まれます
- ・保険料 : 126720
- ・その他 : VISAの申請費用（健康診断含む）: 75000

合計 : 約200万円 (留学期間全体の費用)

その他　自由に記入してください。(800字～)

約11か月の留学でしたが、私にとっては大変短く感じました。様々なことでストレスを感じることも多く、体調を崩すことも少なくありませんでした。しかし、日本に帰国した今、とてもオーストラリアでの生活が恋しいと感じています。パースという町は日本人にあまり知られていないと思いますが（私は留学前までは、全くと言っていいほど知りませんでした。）、町と自然のバランスが取れたとても住みやすい都市です。私のおすすめはビーチです。大学からビーチまでの距離が近く、自転車で30分程度で行けるので、夏はほぼ毎週ビーチにいってくつろいでいました。日本のビーチと比べて混んでいないのでリラックスできます。私の友達は勉強道具を持って行き、浜辺で勉強していました。

まず、前期に苦戦していた英語力ですが、今学期は比較的スムーズにコミュニケーションを取ることができるようになりました。授業を聞き取ることが容易になり、録音された授業を何回も聞く必要がなくなり、英語力の向上を実感しました。しかし、今学期は専門科目ばかりを履修したので授業はハードになり、英語が上達したといえ、ついて行くのに必死でした。授業では思うようにいかないことも多々ありましたが、当初の目標の一つであった英語力の向上はある程度達成することができたので満足しています。交換留学することで英語力は確実に伸びると思いますが、日本にいる段階でできる限り向上させておくべきだと思います。国際文化学部のハブ室などを利用して、英語に触れる、話す、聞く時間をできる限り持つことが重要です。また、留学に来てからももちろん、英語力の向上のための努力は怠ってはいけないと私は思います。特に前期は友達が何を言っているのか分からぬことが多いあったため、時間の許す限り友達とダイニングホールに居座って話し続けたり、友達の部屋に行って会話の練習をしたり、分からないことがあればすぐに聞くようにしていました。

次に住居に関してです。私は一年間寮に住んでいました。数百人の生徒が同じ場所で生活を送るので、非常に多くの生徒と交友関係を築くことができました。世界中の生徒と一緒にダイニングホールで毎食ご飯を食べながら、様々な話で盛り上がり、サッカーを楽しんだり、勉強できるという環境は非常に恵まれていると思います。寮費は高いですが…。困った時に助けてといえる友達も大勢だったので、精神的にも楽に過ごすことができました。

また、学期の間の長期休みを利用してオーストラリアを旅行しました。特に、2億年以上前の地層を露出しているKarjini National Park、現生するストロマトライトや、カンガルー、エミュー、ウミガメをはじめ、サメ、イルカ、コアラ等の野生動物を自分の目で見たときの感動は忘れられません。オーストラリアの大規模なスケールの大きさを実感しました。パースをはじめ西海岸を訪れた際にはぜひ体験してほしいです。

一年間の経験は私にとって非常に貴重な財産になったことは間違ひありません。今後の課題は日本にいる中でどのようにして留学で得た英語力を落とさず、寧ろ向上させるかです。これに関しては未だに模索中です。